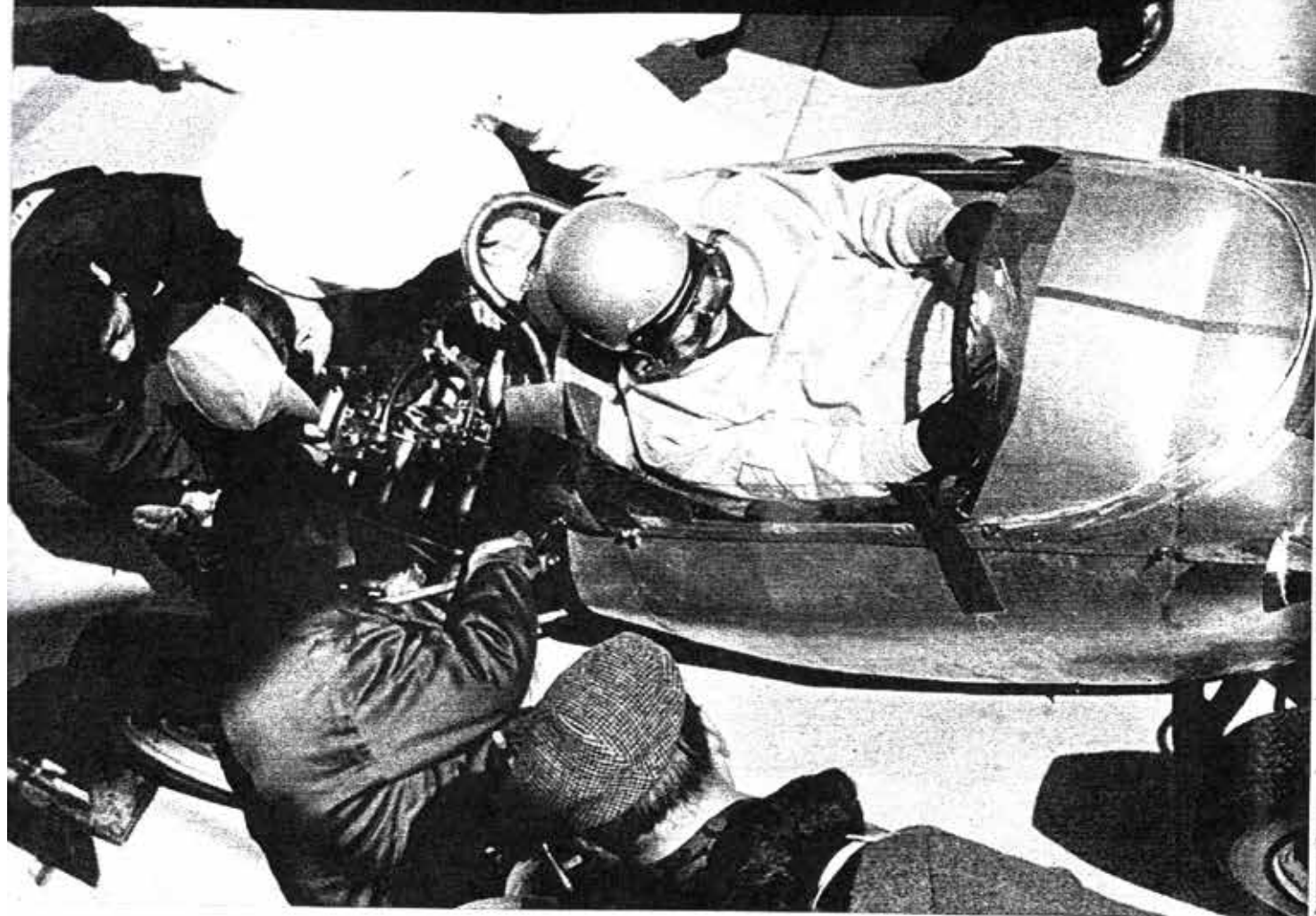


ウェールをぬいだ

日野のフォーミュラ・ジュニア?



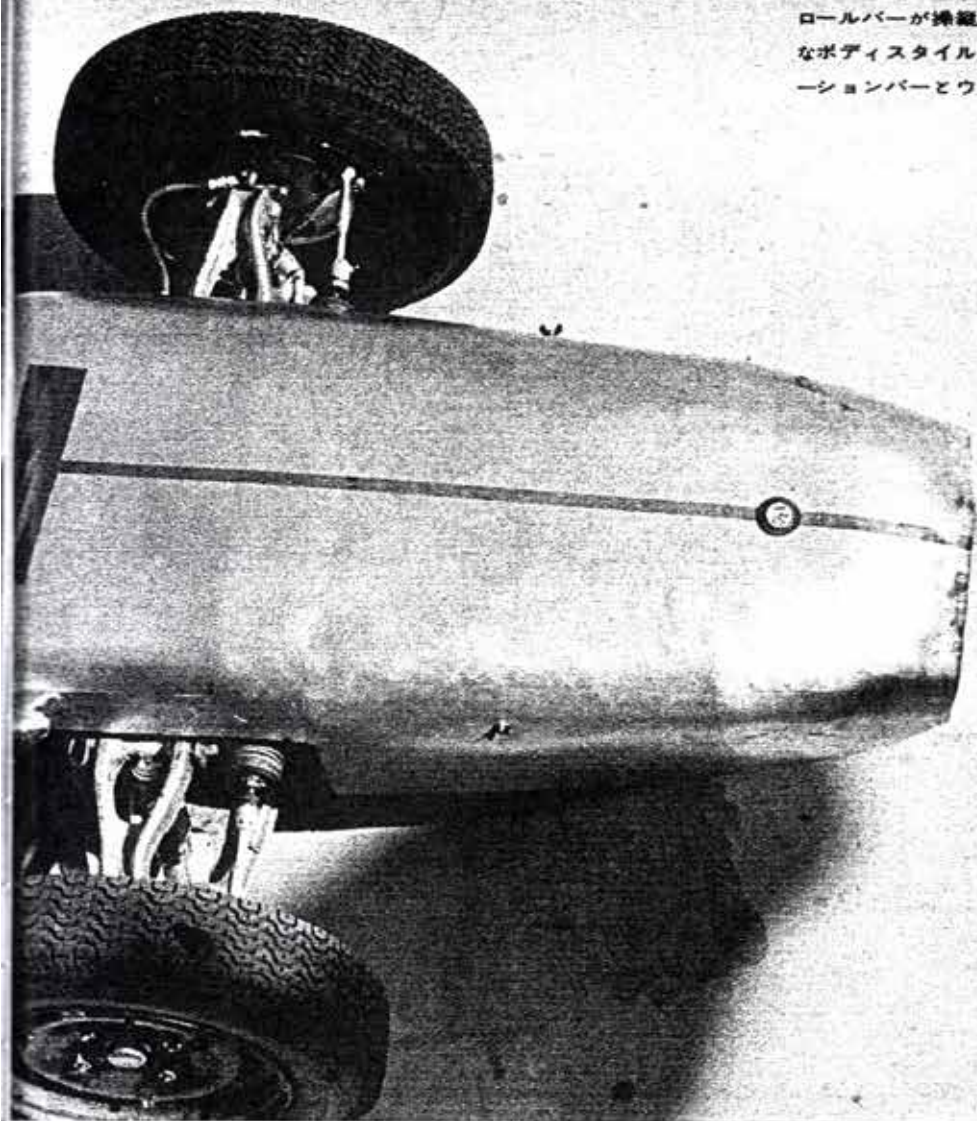
まわりに立っている人と比較すれば、こじんまりとした低く細長いボディが印象的である。前の開口部はあるいはリアエンジンの冷却気の取入口かもしれない

ホンダのフォーミュラ・レーサーと時を同じくして、日野の新顔レーサーがウェールをぬいだ。スタイルからではこれがフォーミュラIに属するのか、よりおとなしいジュニアであるのかは不明であるが、内容その他からみてジュニアに属すると見るのが妥当であろう。エンジンは外観ではコンテツサのそれと同一らしく、ブロックヘッドには手を入れてはいないらしい。あるいは排気量を1000ccくらいまでに大きくしていることも考えられる。キャブレターはウェーバーらしきものを2個そなえている。ラジエターはエンジンの前におかれ、冷却空気はフロントの開口部からダクトを通じてエンジン部まで送られてくることも考えられる。

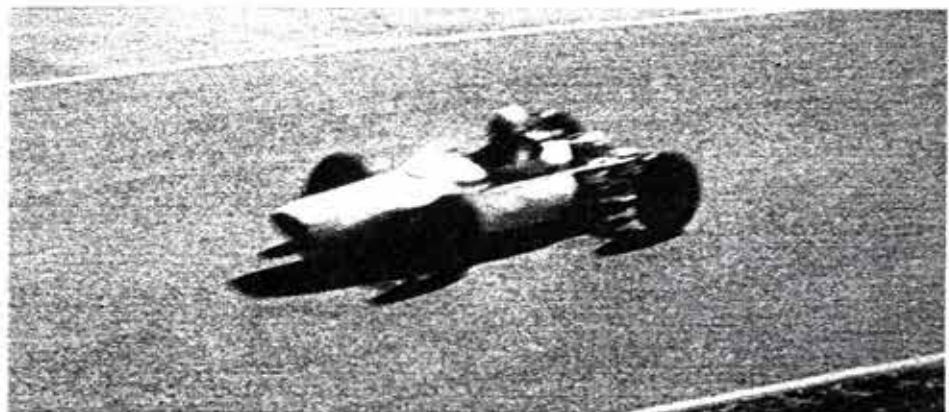
サスペンションは、フロントは縦置きトーションバーと上下2本の不等長のウィッシュボーンによる独立式。リアはコイルスプリングとショックアブソーバーの一体になったユニットをななめにとりつけ、スウィング・アクスルとおそらく2本のアームによってリアホイールが支えられた独立懸架である。フレームは鋼製パイプの溶接組立式で、この写真ではエンジン部は露出しているが、実際にはパネルがとりつけられるものと思われる。タイヤは詳細は不明だが、外国のレーシングカー・タイプである。

ボディスタイルはロータスのフォーミュラ・ジュニアを思わせるスマートなもので、ホイールベースはほぼコンテツサと同じ2150mm程度。また全長も3500mm前後と思われる。高さも約1mの低さで、鈴鹿サーキットでも1周3分10秒前後のラップタイムで試走をつづけていたといわれ、性能の点でもかなり期待できそうである。

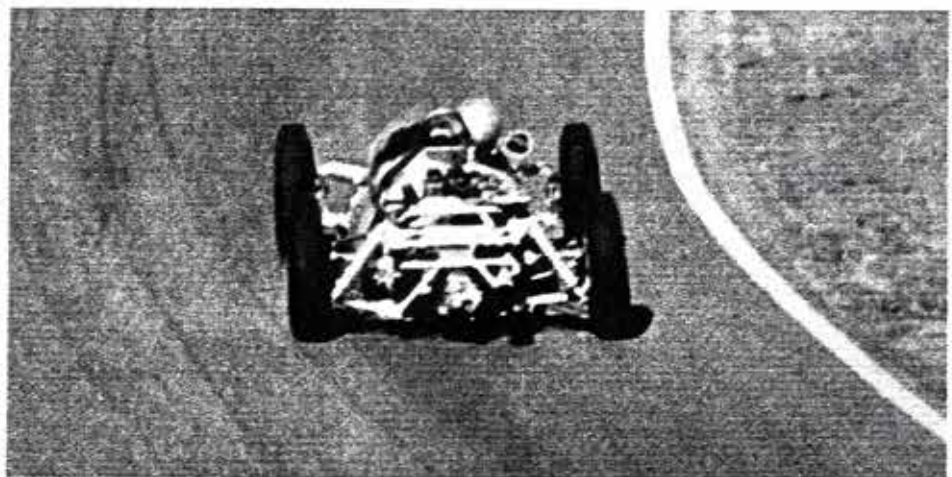
日野フォーミュラ・ジュニア(?)の全量 モノポスト
ロールバーが操縦席のうしろに取りつけられたスマート
なボディスタイル フロントサスペンションは縦置きト
ーションバーとウィッシュボーンによる独立懸架らしい

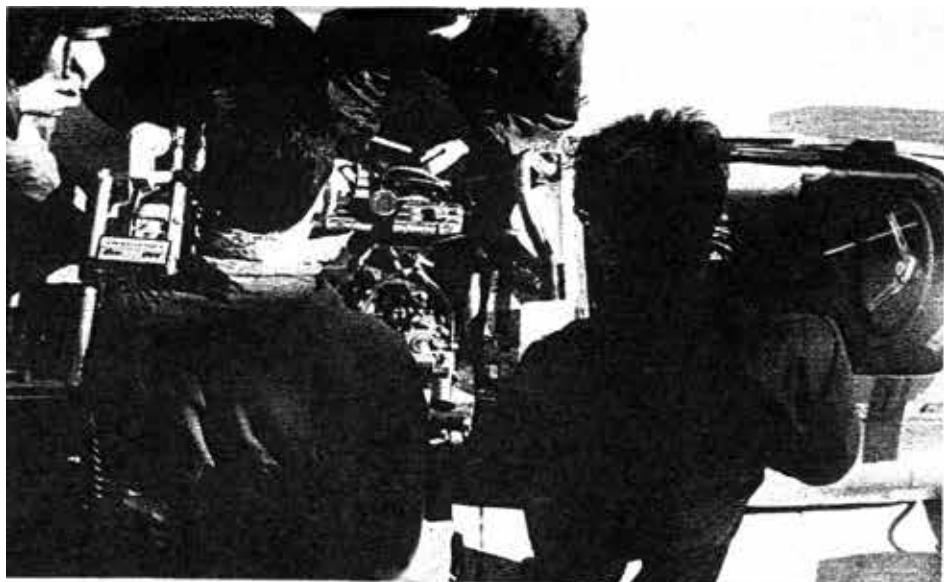


鈴鹿サーキットを疾走す
る日野フォーミュラ・カー



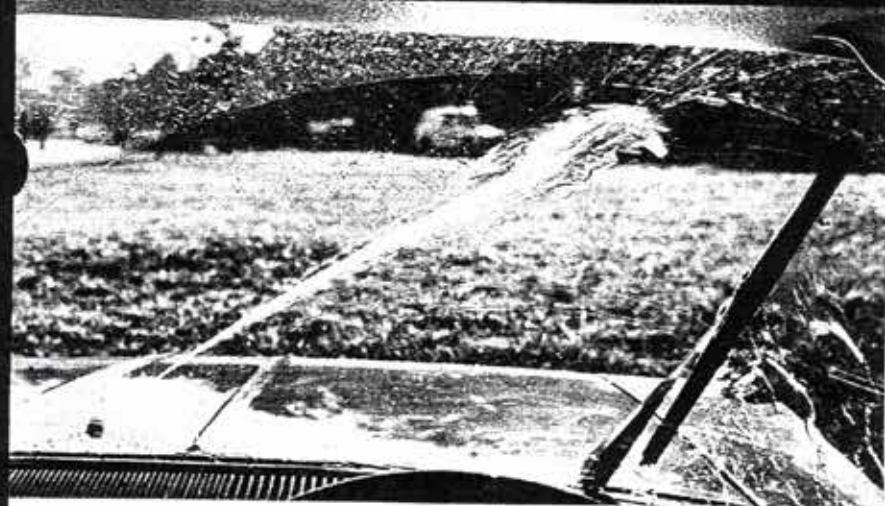
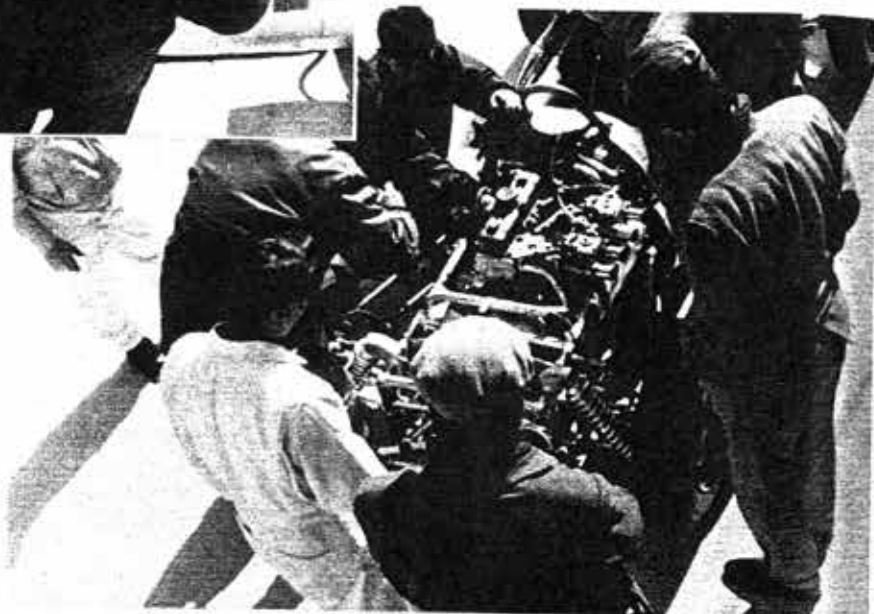
ぴったりと路面にすいつ
いてコーナーをまわる エ
ンジン部のパネルはおそら
くはずしているのだろう
リアのコイルとショックア
ブソーバーを組み合わせた
サスペンションユニットが
みえる





エンジン部 ブロックとヘッド
はコンテッサのものを用いてい
るが ボアをひろげて排気量は
1000ccに近くなっているという

キャブレターはウエーバーを2コ
つけており ラジエーターはエンジ
ンの前におかれている プラグは
デンソーのレーサー・プラグを用い
る ガソリタンクはおそらくシー
トのうしろにおかれているらしい



●ワンタッチですっきり!

シューと一吹き、車内にいながらワンタッチでフロントガラスの汚れを洗いおとすデンソーウィンドウウォッシャー、泥・ほこり・雪、なんでもキレイに洗い流し、フロントガラスにキズをつけません。明るく広い視界で安全な運転をお楽しみ下さい。

- デンソーウィンドウウォッシャーはあらゆる車に簡単に取り付けられます。
- お取り付けのご相談はもよりの販売店へ。



品質の
デンソー

電気式

**デンソー
ウィンドー
ウォッシャー**

日本電装株式会社